

・新規積極的健康獲得方法開発の研究

目的:

Web公開不可



○ 実験プロトコル

Web公開不可

○ 結果: 動脈ステイフネス(CAVI); 血管年齢の指標

Web公開不可

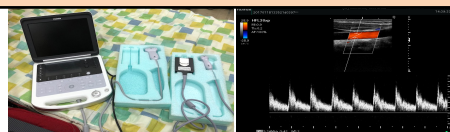
○ 結論:

Web公開不可

検証可能なこと:

- ① 生体における動脈機能と動脈硬化度の評価
 - ② 運動動作や摂取物の評価と生理機序の検討
- 新規健康増進方法の開発

①-1 超音波エコーでの動脈径と血流速度の計測



①-2 血圧脈波検査装置

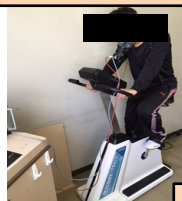


①-3 トノメトリでの中心血圧計測



→ 枚方市・交野市・大阪市・奈良県川上村での高齢者健康体力測定での600人規模の縦断研究も展開

②-1 体力・酸素摂取量試験



②-3 低酸素での電気刺激



②-2 低酸素での機械圧迫

計測・実験手法の応用例

食品

- ・高カカオチョコの摂取効果: Nutrition 2019
- ・ビールの摂取効果: Physiol Rep 2017
- ・緑茶カテキンの摂取効果: 第74回日本体力医学会発表予定

機器

- ・外部機械圧迫の影響: 体力医学会2017発表、細胞2018
- ・骨格筋電気刺激: デサントスポーツ科学 2017
- ・低酸素ガスの吸入の影響: Cli Physiol Funct Imaging 2016

動作・運動

- ・水泳選手の動脈特性: Eur J Appl Physiol 2017
- ・体の柔軟性と動脈硬化: PLoS One 2014
- ・ストレッチングの効果: SpringerPlus 2015
- ・高齢者の介入研究: J Sports Med Phys Fitness 2018.
- ・高齢者の観察研究: J Phys Fitness Sports Med in press
- ・歩数・活動量に関する研究1: J Physiol Anthropol 2014
- ・歩数・活動量に関する研究2: J Phys Fitness Sports Med 2017

* **低酸素環境**: 高所をシミュレートした通常よりも酸素濃度が低い環境。

* **動脈ステイフネス**: 動脈壁の硬化度を示す指標。心血管疾患の独立した危険因子である。